

学校名 北本市立宮内中学校
所在地 北本市宮内4-322
電話 048-543-2900

1 本校の概要

本校は、昭和57年に北本市立東中学校から分離した市内で4番目の学校である。学区は、北本駅から鴻巣市に至る JR 高崎線の北側及び東側の地域をすべて含んでいる。

本校ではこれまでも、読書活動に係わる様々な研究に取り組んでおり、現在も積極的にその充実・推進に努めている。

2 本校の実践

(1) 読書活動の充実

①全校一斉の朝の読書活動

読書に親しむ態度を養うこと及び、朝から落ち着いて学校生活がスタートできることを目的に、毎朝、約10分間の読書活動が行われている。

②図書館利用におけるオリエンテーションの実施

毎年、年度当初には、図書館指導員及び図書館担当教員とが連携し、図書館利用における約束事の説明や読み聞かせを行い、生徒の積極的な利用を促している。

③新着本の紹介



図書館の入口には、新たに購入された書籍のコーナーが設けられている。本に付けられた図書委員手作りの「ポップ」は、来館者の興味・関心を惹きつけ、また、それらの本がすぐに手に取れるように並べられている。

(2) 図書委員会による活動及び実践

①掲示物の作成

季節や学校行事（七夕、クリスマス、学校総合体育大会）及びニュースや各種話題に合わせた読



書コーナーを設置し、タイムリーな本を提供できるよう工夫している。また、図書委員や教職員推薦の本を紹介するコーナーも設けている。

②様々な活動



2学期末には、サンタクロースに扮した図書委員が読み聞かせを行った。多くの見学者が訪れ図書館に入ることができないくらい的好评を得た。先の掲示物作成はもとより、これらの活動に

は、図書館指導員の指導のもと、委員会活動の時間を中心に図書委員が意欲的に取り組んでいる。

(3) 「図書館便り」の発行

毎月発行される図書館便りでは、新書の紹介、各学年・クラス、及び個人における貸出し数、図書委員会からのお知らせ等を掲載し、生徒の多くがそれらの情報を楽しみにしている。

3 成果と今後の課題

上記の取組等により、以前にも増して生徒の「本好き」が増えつつある。忙しい中学校生活において、少しでも本と触れ合う時間、機会が確保できるように今後も図書館指導員と図書館担当教員が中心となり読書活動を進めていきたい。

さらに、教科指導はもとより、学級活動や総合的な学習の時間においても適切・迅速な本や参考資料を提供する学習支援ができるようになれば、生徒の主体的な学習が促され、学力向上につながるものと考えている。